

音 樂 科

1 カリキュラム作成のためのコンセプト

教科の本質

現在の小・中学校における音楽科の課題

〈指導内容・方法・評価等の課題〉

〈実態からの課題〉

- ◎表現および鑑賞の幅広い活動を通して
- 音楽を愛好する心情を育てる。
- 音楽に対する感性を育て豊かにする。
- 音楽活動の基礎的な能力を培い伸ばす。
- 豊かな情操を養う。

- 限られた授業時数で効果的に学習できる題材の創意工夫が必要である。
- 読譜力（ハ長調の階名唱程度）を全員に徹底させたい。
- 日本の伝統音楽や地域の音楽に対する理解を深めさせる指導の充実。
- 学校行事（学芸会、合唱コンクール、卒業式等）の指導時間の確保。

- 自己中心的な子どもが増え、なかなか授業に集中しない。
- 自分の好きな音楽には関わっても、学校の音楽には興味をもてない子どもがいる。
- 授業規律が確保されていない実態がある。
- 様々な面から教師の指導力の一層の向上が望まれる。



課題を克服するための基本的な考え方

- ◇年齢・発達段階に応じた授業を創造するため、「①生活に結びついた題材や教材の選択」、「②子どもの関心を惹き付ける授業の展開方法」、「③上級生による指導や異学年交流」、「④専門家による指導」等の工夫を図る。
- ◇教師自らの専門性を一層高めるとともに、さまざまな人材（専門家、ゲストティーチャー等）を効果的に活用できる力を高める。
- ◇授業規律を確保するために、学級担任や他教科との連携を密にししながら、子どもの自治能力を向上させる指導の工夫をする。



小中一貫教育のコンセプトから考える音楽科のねらいと育てたい力

- ①9年間の継続した指導と学習によって、ソロ活動ができる程度の自己表現能力を育成する。
 - ②合唱や合奏、アンサンブル活動を通して、親和的能力を培う。
 - ③専門家の演奏に直接ふれたり指導を受けることによって、豊かな情操を育み知的探求能力を育てる。
 - ④日本の伝統音楽や世界のさまざまな音楽にふれることによって感性を磨き、自己形成能力を育てる。
- 【1年生～2年生】
楽しい音楽活動を通して音楽に対する興味・関心をもたせ、生活を明るく潤いのあるものにする態度を育てる。
- 【3年生～4年生】
音の特徴や諸要素を感じ取らせ、表現の工夫をさせる。
- 【5年生～7年生】
音の重なりや和音の響き、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取らせ、基礎的な表現の能力と幅広く鑑賞する能力を育てる。
- 【8年生～9年生】
楽曲構成の豊かさや美しさを味わい、音楽に対する総合的な理解を深め、創造的に表現する能力を育てる。





〈発達のみとまりによる主な指導内容・指導形態〉

1年生・2年生		3年生・4年生		5年生～7年生			8年生・9年生		
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて演奏できるようにする。 ・音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにする。 ・歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ・曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って工夫して表現できるようにする。 ・音楽をつくって表現できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲の構成、曲想を感じ取って歌唱表現を工夫する。 ・自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむ。 ・諸要素の働きとそれらによって生み出される曲想を感じ取るとともに、背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴く。 			<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わったり、楽器の特徴を生かしながら、曲にふさわしい表現の工夫をする。 ・歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律を作り、声や楽器で表現する。 ・我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の多様性を理解して聴く。 		
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	学年 1単位 45分
68	70	60	60	50	50	45	35	35	現学習指導要領
68	70	60	60	50	50	50	40	40	小中一貫教育

〈・主な重点的内容／○追加内容〉

<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで歌う ・身近な楽器に親しむ ・鍵盤ハーモニカ ・リズム遊び ・音楽を身体で感じ取る ・地域の音楽にふれる ・専門家の演奏を聴く ・ミニコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然で無理のない声で歌う ・打楽器やソプラノリコーダー ・楽典の導入 ・リズムや旋律作り ・諸要素を感じ取る ・伝統的な音楽にふれる ・専門家の演奏を聴く ・ミニコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・変声期の指導を工夫し無理のない発声で歌う。 → → ・アルトリコーダー ・アンサンブル活動 → → ・楽典の定着 ・自由な発想を生かした表現 ・音楽の多様性や文化・歴史などとの関わり ○和楽器の鑑賞や実技指導→ ・オーケストラ鑑賞教室 (5年生) ・ミニコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲種に応じた発声で歌う。 (学年交流、上級生が下級生を指導) → → → → ・楽典を表現の工夫に生かす ・旋律作りや即興的な表現、創作 ・音楽を総合的に理解して聴く → → → → → → ・世界各地の音楽にふれる ・オーケストラ鑑賞教室 (8年生) ○卒業演奏 (個人、グループ、学級などで)
--	--	---	--